

茨城労働局発表

平成23年5月31日

担当課

茨城労働局労働基準部健康安全課

課長 橋本 篤弘

課長補佐 中島 英明

Tel 029-224-6215

震災復旧工事等に係る労働災害防止対策を強化

～6月7日（火）、茨城労働局長・鹿嶋監督署長以下20名による
鹿嶋臨海化学コンビナート局・署合同パトロールを実施～

茨城労働局（局長 鬼丸良一）及び県内の各労働基準監督署においては、震災復旧工事等に伴う労働災害防止のため、「東日本大震災に伴う災害復旧工事等に係る労働災害防止対策実施要綱」を策定し、復旧工事現場等に対するパトロールの実施等を強化しています。

今般、復旧工事等に伴う労働災害防止対策の一環として、神栖市の鹿嶋臨海化学コンビナート（鹿嶋東部コンビナート）の復旧及び定修（定期修理）工事に対して、下記により、茨城労働局、鹿嶋労働基準監督署及び隣接監督署（以下「局・署」）の職員合同で現場パトロールを実施します。

鹿嶋東部コンビナートは、東日本大震災の地震と津波により大きな損傷を受け、関連する企業のプラントが緊急停止し、国内の石油関連資材の供給にも深刻な影響を与えてきました。

現在、本格操業に向けて急ピッチで復旧工事等が行われていますが、茨城労働局では、円滑な復旧にあたっては、労働災害の防止は不可欠であるとの観点から、局・署の職員を動員したパトロールを行うこととしたものです。

局・署合同パトロールには、茨城労働局の鬼丸良一（おにまる りょういち）局長、鹿嶋労働基準監督署の青山努（あおやま つとむ）署長以下職員総勢20名を投入し、高所作業による墜落・転落災害や爆発・火災防止などのために、工事を発注するコンビナート各社及び施工業者に対して適切な管理を求めることとしています。

茨城労働局では、6月1日～10日を集中取組期間として、県下一斉パトロールの実施などを各監督署に指示し、復旧工事等に伴う労働災害防止対策を一層強化するとともに、県内で復旧工事を行う事業者に対して安全管理の徹底を呼び掛けています。今回の局・署合同パトロールは集中取組の一環として実施されるものです。

記

1 実施日

平成23年6月7日（火）

2 実施日程（概要別紙のとおり）

（1）午前11時～12時 パトロール打合せ会議

（2）午後1時～3時 現場パトロール実施

（局・署合同パトロールの打合わせ会議および現場パトロールの一部は取材可能です。詳細はお問い合わせ下さい。）

別紙

鹿島臨海化学コンビナート合同パトロール実施概要

1 目的

東日本大震災の被害に対する復旧工事による労働災害防止対策の強化の一環として、鹿島臨海化学コンビナートの復旧工事及び定修工事に対し、局署が合同で安全パトロールを実施する。

2 実施日

平成23年6月7日(火)

3 実施予定時間帯

- (1) 集合 11:00
鹿島共同施設(株) 大会議室(2階) 神栖市東和田34-2
- (2) 打ち合わせ会議実施 11:00～12:00
 - ①鹿嶋署長挨拶 (5分)
 - ②局長訓示 (10分)
 - ③鹿島コンビナートの概要説明 (15分)
 - ④パトロール手法の説明 (20分)
 - ⑤質疑等 (15分)
- (3) 昼食
- (4) 現場パトロール実施 13:00～15:00
 - ①工事概要説明 (30分)
 - ②パトロール実施 (60分)
 - ③講評 (30分)

4 投入人員 合計 20名

- (1) 鹿嶋監督署 署長以下5名
- (2) 労働局 局長以下9名
- (3) 他署 6名

5 パトロール実施概要

(1) 20名を5班に編成し、各班によりコンビナートの各事業場のパトロールを実施する。

(2) 対象事業場

- ①三菱化学(株)鹿島事業所
 - バース復旧工事
 - 酸化エチレンプラント定修工事
- ②(株)クラレ鹿島事業所
 - MPプラント復旧、定修工事
 - モノマープラント定修工事
- ③旭硝子(株)鹿島工場
 - A1・A2バース復旧工事

6 その他

(1) 取材可能な範囲について

①パトロール当日の打合せ会議冒頭は取材可能です。

②旭硝子（株）鹿島工場のパトロールは、同行取材可能です。

（三菱化学及びクラレについては、爆発・火災防止のため構内への立入はできません。）

(2) パトロール当日に同行取材を希望される場合は、事前に茨城労働局健康安全課までご連絡ください。

東日本大震災に伴う災害復旧工事等に係る労働災害防止対策実施要綱

(要旨)

1 本実施要綱の趣旨

東日本大震災は茨城県内にも甚大な被害をもたらした。震災以降これまでに、被害に対する復旧・復興工事等（以下「復旧工事等」）が精力的に行われている中で、すでに多数の労働災害が発生している。

今後、本格化する復旧工事等において、石綿等の有害物や危険物の混入の可能性を含め、「非定常的な工事となること」「工期が短縮される可能性があること」「作業員や資材の不足から教育や準備が不十分となる可能性があること」等、労働災害発生の危険性が高まることが予想される。

早期復旧が望まれる作業の中で、労働災害防止との両立をはかる観点から、労働災害防止対策をより効果的に実施するために本要綱を定めるものである。

2 対策強化期間の設定

平成23年5月以降当分の間を復旧工事等労働災害防止対策強化期間（以下「対策強化期間」）とする。

3 重点事項

- (1) 墜落・転落、飛来・落下災害の防止
- (2) 各種重機等による災害の防止
- (3) 崩壊災害の防止
- (4) 爆発・火災災害の防止
- (5) 有害物曝露の予防
- (6) 熱中症の予防
- (7) 過重労働による障害の予防
- (8) その他（余震・土石流等による災害の防止）

4 対策強化期間を通じた取組内容

- (1) 関係事業主に対する労働災害防止対策の周知・徹底
- (2) 関係団体等に対する自主的取組等強化の要請
- (3) 集中的な広報等の実施
- (4) 復旧工事等の現場に対するパトロールの実施

5 集中取組期間の設定

本要綱の周知・徹底を図るため、6月1日から6月10日を集中取組期間に設定し、以下の取組を実施する。

- (1) 平成23年度全国安全週間準備期間（6月1日から30日）における安全衛生大会等を活用し、本要綱の周知・広報を実施する。
- (2) 労働局、労働基準監督署の職員による復旧工事現場等に対する県下一斉パトロールを実施する。

東日本大震災に伴う災害復旧工事等に係る労働災害防止対策実施要綱（要旨）

1 本実施要綱の趣旨

東日本大震災は茨城県内にも甚大な被害をもたらした。震災以降これまでに、被害に対する復旧・復興工事等（以下「復旧工事等」）が精力的に行われている中で、すでに多数の労働災害が発生している。

今後、本格化する復旧工事等において、石綿等の有害物や危険物の混入の可能性を含め、「非定常的な工事となること」「工期が短縮される可能性があること」「作業員や資材の不足から教育や準備が不十分となる可能性があること」等、労働災害発生危険性が高まることが予想される。

早期復旧が望まれる作業の中で、労働災害防止との両立をはかる観点から、労働災害防止対策をより効果的に実施するために本要綱を定めるものである。

2 対策強化期間の設定

平成23年5月以降当分の間を復旧工事等労働災害防止対策強化期間（以下「対策強化期間」）とする。

3 重点事項

- (1) 墜落・転落、飛来・落下災害の防止
- (2) 各種重機等による災害の防止
- (3) 崩壊災害の防止
- (4) 爆発・火災災害の防止
- (5) 有害物曝露の予防
- (6) 熱中症の予防
- (7) 過重労働による障害の予防
- (8) その他（余震・土石流等による災害の防止）

4 対策強化期間を通じた取組内容

- (1) 関係事業主に対する労働災害防止対策の周知・徹底
- (2) 関係団体等に対する自主的取組等強化の要請
- (3) 集中的な広報等の実施
- (4) 復旧工事等の現場に対するパトロールの実施

5 集中取組期間の設定

本要綱の周知・徹底を図るため、6月1日から6月10日を集中取組期間に設定し、以下の取組を実施する。

- (1) 平成23年度全国安全週間準備期間（6月1日から30日）における安全衛生大会等を活用し、本要綱の周知・広報を実施する。
- (2) 労働局、労働基準監督署の職員による復旧工事現場等に対する県下一斉パトロールを実施する。

東日本大震災後の復旧工事災害事例（5月31日現在までの把握分）

死傷災害（休業4日以上 38人、内死亡 1人）

NO. 発生日時 災害程度	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
No.1 3月12日 9:50 休業2ヶ月	左官工 10歳代 2年	その他の 土木工事業	飛来・落下	地震により倒壊した石塀を撤去する作業中、廃棄のための石塀をトラックの荷台へ積み、動かないように重なり合っている破片を平らにしていたところ、上の破片（2～3kg）が左手に落下し受傷した。
			石・砂・砂利	
No.2 3月13日 12:12 休業3ヶ月	現場監督 40歳代 18年	木造家屋 建築工事業	墜落・転落	震災後の瓦屋根養生のため、シート囲い中、2階屋根より足を滑らせ落下し負傷した。
			屋根・はり・もや・けた・合掌	
No.3 3月13日 14:30 休業20日	運転手 50歳代 23年	その他の 食料品製造業	激突され	大震災で壊れた商品棚を直す作業中、3人で力をあわせて押したところ、タイミングがずれたため棚にぶつけ、肋骨を骨折した。
			その他の仮設物・建築物・構築物	
No.4 3月14日 10:30 休業47日	調理補助 40歳代 4ヶ月	その他の事業	飛来・落下	食堂の食品庫で、地震により落下したパーティー機材の片付けを2人で作業中、機材を拾って棚の上に戻そうとしたところ、棚の上の機材のバランスが崩れて落下し、下で拾っていた被災者の頭に当たり、負傷した。
			その他の用具	
No.5 3月15日 13:50 休業1ヶ月	作業員 40歳代 13年	木造家屋 建築工事業	墜落・転落	屋根補修現場にて、破損した瓦を除去し、シートで養生した際、瓦上の土で足を滑らせ落下し、負傷した。
			屋根・はり・もや・けた・合掌	
No.6 3月16日 16:30 休業2週	作業員 20歳代 5年	その他の 建築工事業	墜落・転落	地震により屋根が破損したため、仮設シートを張る作業中、屋根瓦の上で足を滑らせ落下し（高さ約2m）、負傷した。
			屋根・はり・もや・けた・合掌	
No.7 3月17日 17:30 休業4ヶ月	左官工 40歳代 21年	建築設備 工事業	墜落・転落	屋根上でブルーシートを張り、瓦の差し替え作業中、バランスを崩したため自分で屋根から飛び降りた際、瓦くずの上で左足かかとを骨折した。
			屋根・はり・もや・けた・合掌	
No.8 3月18日 15:00 休業1週	現場監督 40歳代 9年	その他の 建築工事業	転倒	屋根の補修現場でシート養生作業中、足元が滑り左足を打撲、その際の傷から感染し化膿した。
			屋根・はり・もや・けた・合掌	

NO. 発生日時 災害程度	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
No.9 3月22日 9:30 休業30日	造園工 30歳代 14年	農業	飛来・落下	震災により損傷した建物の壁面の大理石パネルを取り外し、搬出する作業中、当該パネルを高所作業車から運搬する台車に積み替えようと、人力で持ち上げたところ、パネルが割れ足の甲の上に落ち、骨折した。
			その他の材料	
No.10 3月23日 10:52 休業14日	放射線 管理者 50歳代 39年	その他の 教育研究業	墜落・転落	放射線管理区域内の建物にて、震災後の施設の安全点検を実施中、セル中程の補強板から降りようとして高さ約 1.5m から足を踏み外し、左肩を脱臼骨折した。なお、放射線物質による汚染はなし。
			階段・さん橋	
No.11 3月24日 10:30 休業30日	建築検査員 50歳代 20年	その他の 建設業	墜落・転落	震災後の応急処置で瓦の補修作業を終え、屋根から降りる際、杉花粉が付着して滑りやすくなっていた瓦の上で足を滑らせ、下屋から転落して左ひじを骨折した。
			屋根・はり・もや・けた・合掌	
No.12 3月24日 14:00 休業3週	造園手 60歳代 2年	その他の土木 工事業	激突され	地震により倒れた大谷石の塀の片付け作業にあたり、バックホーで破損した大谷石(約 50kg)を 2t トラックの荷台に積み込む作業中、荷台上でバックホーのハサミから石がずり落ちて倒れ、先に積んだ石を動かしていた被災者の左手小指に当たり負傷した。
			石・砂・砂利	
No.13 3月25日 14:00 休業1ヶ月	硝子工事 作業員 20歳代 5年	建築設備 工事業	墜落・転落	中学校体育館でガラスシーリング施工作業において、高さ 2.9m の内部足場を移動中、バランスを崩し落下して骨折した。
			足場	
No.14 3月28日 10:30 休業1ヶ月	設備工 60歳代 8年	その他の 建築工事業	墜落・転落	震災に伴うスポーツクラブ内の給水管修理工事において、修理室に入室した際、電気がつかず暗い状況だったため、室内床ピット(幅 1m、深さ約 120cm)端部から転落し、右足を骨折した。
			その他の仮設物・建築物・構築物	
No.15 3月29日 16:15 休業2ヶ月	とび職 10歳代 6ヶ月	その他の 建築工事業	墜落・転落	屋根補修工事において、倉庫屋根の状況確認のため、2棟の倉庫の間のスレート屋根(高さ約 7m)を渡っていたところ、屋根が破れ、転落、骨折した。
			屋根・はり・もや・けた・合掌	
No.16 4月1日 9:05 休業1ヶ月	解体工 50歳代 5年	その他の 建築工事業	墜落・転落	震災で被災した建物の天井内装材を撤去する作業中、立馬(高さ 175cm)上でバールを使って天井材をはがす作業を行っていた際、突然天井が落下し、天井ボードが立馬の握り棒に刺さり、立馬を引き倒したため、被災者は立馬から飛び降り、左肩を下に転落し骨折した。
			はしご等	

NO. 発生日時 災害程度	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
No.17 4月1日 8:30 休業4週	塗装工 20歳代 11年	その他の建築 工事業	飛来・落下 その他の 装置・設備	震災による自社事務所外壁修繕工事の際に、足場用パイプ置場でパイプをトラックに乗せるためにトラックの荷台を片付けていた時に、荷台に積んであった消火器を誤って足に落としてしまい負傷した。
No.18 4月4日 13:50 休業1ヶ月	瓦葺き工 40歳代 20年	その他の建築 工事業	墜落・転落 屋根・はり・ もや・けた・ 合掌	屋根上で、瓦を持って棟とりの作業中、足が滑り屋根から落ちて、ブロック塀にぶつかり、肋骨を骨折した。
No.19 4月4日 14:00 死亡	屋根ふき工 70歳代 40年	その他の建築 工事業	墜落・転落 屋根・はり・ もや・けた・ 合掌	木造2階建て民家兼店舗の屋根瓦撤去工事において、瓦撤去後、被災者を含む3名がブルーシートで屋根を覆う作業中、高さ約6mの屋根端部から墜落し、死亡した。
No.20 4月6日 10:00 休業2週	作業員 40歳代 10年	木造家屋建築 工事業	切れ・ こすれ 研削盤・ バフ盤	地震により破損した瓦を撤去するため、地面に降ろしてある瓦同士を繋いでいる針金をグラインダーを使用して切っていた際、グラインダーが弾かれ、その刃で右手首を切創した。
No.21 4月7日 11:30 休業1ヶ月	土工 30歳代 16年	その他の土木 工事業	はさまれ・ 巻き込まれ 掘削用機械	個人住宅の石積みの塀を撤去作業中、コンボのバケットに手で積み込んだ際、右手の小指をバケットと石の間にはさんでしまった。
No.22 4月9日 13:15 休業6ヶ月	内装工 50歳代 30年	その他の建築 工事業	墜落・転落 はしご等	工場の震災復旧工事現場にて、震災で落下した天井の復旧作業で、天井軽量鉄骨下地を組立てていた際、テンダイ(高さ97cm)から窓台に移動したところ、テンダイのキャスターのストッパーがかかっていたためずれてしまい、バランスを崩し落下し右足を骨折した。
No.23 4月11日 14:00 休業2ヶ月	大工 40歳代 32年	その他の建築 工事業	墜落・転落 屋根・はり・ もや・けた・ 合掌	2階の屋根上で、屋根の葺き替え工事中、地震がきて、屋根に乗せてあったコンパネが滑り落ち、被災者を直撃して、コンパネと共に下にあったトラックの荷台に落ち、左足を骨折した。
No.24 4月11日 17:40 休業2週	駐車場 管理員 60歳代 2年	その他の 商業	墜落・転落 通路	地震による駐車場の被害状況を確認し、歩行者用道路の法面の点検のための懐中電灯を届けようと法面(勾配約45度)を登っていたところ、誤って足を滑らせてコンクリートの犬走りに転落し、鎖骨骨折した。

NO. 発生日時 災害程度	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型		災害の概要
			起因物		
No.25 4月14日 11:22 休業14日	オペレータ ー 30歳代 20年	無機・有機 化学工業製品 製造業	高温・低温 の物との 接触	その他の 材料	工場内の設備において、震災で停止していた分解炉の配管の取り外し点検をしていた際、突然カーボンスケール粉が一気に吹き出し、耐火モルタルを直撃し飛散、被災者に当たり、負傷した。
No.26 4月14日 14:30 休業2ヶ月	配管工 30歳代 14年	その他の 建設業	飛来・落下	金属材料	工場内において、高さ1.5mにある破損した塩ビ管（口径300A、長さ約4m）を解体作業中、同管が割れて落下し、下を潜り抜けようとした被災者の背中に当たり負傷した。
No.27 4月14日 10:00 休業25日	大工 50歳代 40年	木造家屋 建築工事業	墜落・転落	はしご等	屋根修理工事現場において、屋根の養生のためビニールシートをはり、はしごで降りようとした際、バランスを崩し地面に落下、胸部を骨折した。
No.28 4月15日 11:00 休業20日	作業員 40歳代 9年	その他の土石 製品製造業	はさまれ・ 巻き込まれ	移動式 クレーン	墓所内にて地震災害の片付けをしていた際、カートクレーンを移動操作中、カートクレーンと墓所の石柱との間に左足を挟まれ、負傷した。
No.29 4月19日 15:50 休業1週	技能員 20歳代 4年	電子機器用・ 通信機器用 部品製造業	動作の反 動・無理な 動作	木材・竹材	工場内において、震災で崩れた天井の修繕作業を行う際、設備ユニットを移動するため、台車の枕木にしようとして板を叩いて割ろうとした時、右手を骨折した。
No.30 4月20日 16:00 休業30日	とび土工 40歳代 20年	その他の 建設業	墜落・転落	はしご等	住宅の屋根瓦の補修のため、雨養生シートを掛けていたが、強風により飛ばされてしまったために、それを補修しようとして梯子を掛けて屋根に上った所、バランスを崩し4mの高さから地面に落下し、骨盤部を骨折した。
No.31 4月23日 14:10 休業30日	軽鉄工 40歳代 20年	その他の建築 工事業	墜落・転落	足場	工場の2階で軽量鉄骨天井下地組作業時に、ローリング足場との間に渡っていた固定されていない足場板を踏み外し、高さ1.9mの位置から墜落し負傷した。
No.32 4月27日 11:00 休業2ヶ月	土木作業員 30歳代 9年	道路建設 工事業	切れ・ こすれ	丸のこ盤	住宅のコンクリートブロック塀の補修作業中、コンクリートを流すための木枠を電動ノコギリで切断している際、ノコギリが木の節に当たってはね上り、右手を負傷した。

NO. 発生日時 災害程度	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型		災害の概要
			起因物		
No.33 4月29日 9:30 休業2ヶ月	作業員 30歳代 10年	その他の建築 工事業	墜落・転落	住宅屋根の補修工事において、隅棟工事のため軒先に昇ったが、道具を忘れたため金具を外して下に降り、再度昇った時、安全帯を金具に繋ぎ忘れたため、落下し足を骨折した。	
			屋根・はり・もや・けた・合掌		
No.34 5月6日 8:30 休業2週	土木作業員 60歳代 5年	道路建設 工事業	はさまれ・巻き込まれ	道路復旧工事現場において、震災で路肩に落下した石(130×120×100cm)の撤去作業中、石をトラックの荷台に載せるためにワイヤー掛けを行っていたところ、ワイヤーが外れそうになり、左手小指をはさまれた。	
			玉掛用具		
No.35 5月13日 10:30 休業3ヶ月	大工 40歳代 30年	木造家屋 建築工事業	墜落・転落	住宅の屋根瓦の補修工事のため、瓦を降ろしていたところ、足先がふらついて1階の屋根から転落し、腰を圧迫骨折した。	
			屋根・はり・もや・けた・合掌		
No.36 5月18日 11:40 休業3ヶ月	鳶工 20歳代 1年	その他の建築 工事業	墜落・転落	災害復旧工事のため、桝組足場組立中、作業床約9mの所から足を滑らせ落下した。安全帯を携帯していたが、使用していなかった。	
			足場		
No.37 5月19日 10:30 休業3週	土工 60歳代 20年	その他の土木 工事業	切れ・こすれ	土間コンクリートを10kブレーカーで研っていたら、すべってブレーカーの先が右足の指に当たり、負傷した。	
			その他の建設用機械		
No.38 5月23日 11:30 休業10日	組立工 40歳代 10年	建築設備 工事業	飛来・落下	移動ラック復旧工事において、労働者3名で支柱パネルの交換作業を行っていたところ、支柱パネルを押さえていた労働者に外れたビームが落下し、足を負傷した。	
			その他の装置・設備		